

ICタグ導入で大幅効率アップ

第6回
自動認識システム大賞
「優秀賞」受賞



「イベント形式の宝飾販売会」におけるICタグの有効活用！

デパートの催事場等で催される「宝石の展示即売会」、誰でも一度くらいは目にされた経験があるのではないのでしょうか？

最近では店舗外での売上が店売りをしのぐとも言われており、宝石販売業としても無視できない販売形態であることは間違いありません。多い会社では、300回/年を超える即売会を実施しているところもあるようです。それに伴い問題点もあるようで...

(株)ミュゼオ様は本社を神戸市芦屋におき海外ブランドの輸入販売を手がけ、近年「イベント形式による販売会」で急成長を遂げられた会社。



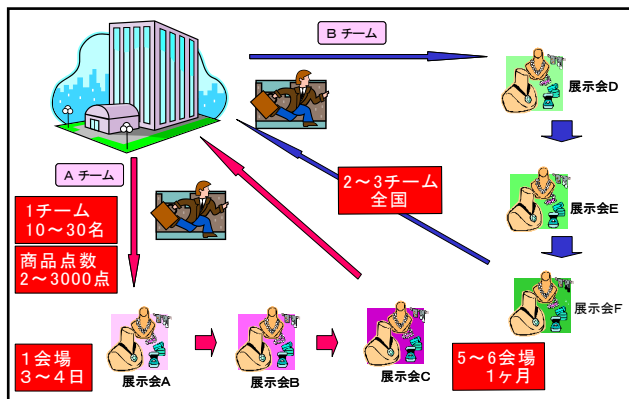
ルイ・ヴィトン銀座並木通り店の
お隣にあるミュゼオ銀座店



日本橋三越にも出店中の同社
ブランドのひとつが“Marina B”

同社の場合、10名程度でチームを組み2～3,000点の商品を持出し、長い場合には1ヶ月以上会社に戻ることなく全国の会場から会場を渡り歩く。

このようなチームが通常で2チーム、多いときには3チームで販売会を開催するとのこと。



(株)ミュゼオのイベント形式の販売会の運用イメージ

イベント形式における問題点

同社の場合、クローズされた空間をつくり非日常を演出することで順調に成果をあげてきたとのことだが、全国各地を飛び回る販売会という形態をとることによっていくつかの問題点もクローズアップされてきた。

一点目には展示会終了後に、すぐ次の展示会へと商品を送り出さなくてはならないため、日々の棚卸が物理的に行えないということ。二点目として常に複数のチームが別々の地域で販売会を開催している都合上、お互いの在庫状況がわからず各々が独自に発注をかけてしまい結果的に在庫が増えてしまうということ。三点目には会場から会場へと移動が続く中、商品のロス（紛失）が発生してしまうこと。

こういった問題は従来のバーコード管理ではどうしても改善することが難しかった。タグのバーコードを読み込んでしまえばコンピュータが溢れる昨今、処理にたいした時間はかからないが、問題は3,000点に及ぶ商品ひとつひとつについているバーコードを読取る作業。こればかりは人手で一枚一枚タグを裏返して読込むという作業を繰り返さざるを得ない。熟練した人間でも3,000点の商品の読込作業には3時間近くかかってしまう。



◀指輪に付けられたタグの裏面のバーコード

▼通常は宝石ケースに並べて管理されている

▲宝石ケースにセットされた状態の拡大写真



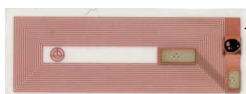
こんな状態では、一分一秒を争う会場撤収時には、とてもじゃないが棚卸作業などしてられないというのが現場での本音だろう。実際、商品の送り出しが遅れば、翌日の別会場での展示会に影響が出るのは必至だ。

「なんとか日々の棚卸を実行し、問題点の改善をはかりたい」かねてよりイベント形式の販売会の弱点を痛感していた(株)ミュゼオ肥塚専務は日々思い悩んでいた。そんな時、耳にしたのがICタグの複数商品を同時に一括読取できるという機能だった。

ICタグ導入のメリット

「ICタグなら見た目は同じでも、世界で唯一の固有番号(ユニークID=UID)を持っている為、複数のタグを一括読取りできる。」「ユーザーはUID以外に任意の情報を書込むことができ、自由に書換可能である。」こんな情報が次々と耳に入ってきた。複数一括読取ができ、情報を書換えての再利用が可能ならばコストメリットもある。

さらに「30×10mmの小型ICタグがリリースされた。」との情報を聞きつけるに至り、この大きさなら商品に付けてもまったく問題なく扱える。との判断から導入を決めるにいった。



◀ 実際の小型ICタグ この大きさなら商品に付けても問題ない(ほぼ原寸大)(アンテナサイズ30×10mm)

具体的な導入にあたって、まずは本部の棚卸から実際の運用をはじめた。下の写真は時計にICタグを取り付けたところだが、比較的タグがスッカリしているこの状態でも、タグを裏返しならのバーコード読取には時間がかかっていたが、ICタグ導入により従来の1/4倍に時間短縮がはかれた。



ICタグ内蔵のタグを時計に付けたところ。

写真にある商品7点でバーコード読取に約28秒かかっていたが、ICタグを使っただけの読取なら約7秒で終わる。

さらに効果が顕著だったのが、ネックレスの棚卸。商品は一点ずつビニール袋に入れて10本ひとまとめにして保管されているが、見ての通り袋から出ているタグは無秩序そのもの。この状態のバーコードを読取るのは根気の要る作業であったが、単に読取作業の時間だけで比較してみるとICタグ導入によって実に22倍の作業効率アップに繋がった。

ネックレスの保管状態、タグが無秩序に飛出している。写真は30点。



商品30点で、バーコード読取約2分12秒、ICタグ読取なら約6秒。その差は歴然。

本部での結果を踏まえて、実際の展示会運営に導入をはかっていったところ、会場撤収時のケース収納時に、アンテナの上に商品を置くだけで商品カウントが終わるため、日々の棚卸が無理せずおこなえるようになった。また、そのようにして取った情報を本部にデータ送信することにより、各チームが在庫状況を把握できるようになり、ダブリ発注がなくなった。つまり余剰在庫撲滅に繋がったのである。

ICタグ導入の波及効果

さらに前述の問題点にあった商品ロスの問題についても、日々の棚卸が適切に行えるようになった後は、どの会場の、どの時点で商品ロスが発生したかが推測できるようになり、再発防止の手段を講じることが可能となったため確実に商品ロスが減少してきているとのこと。

このように、ICタグ導入によって、数々の問題点をクリアしてきた同社だが、この他にもデパート等の会場主に日々の売上を正確に計上できるようになり、会社としての信頼感がアップしたこと、余剰在庫がなくなったり、商品ロスがなくなったことによる経費削減が進み、最終的にはユーザーに対する還元率が増える傾向にあること等、当初想定していなかった波及効果も生まれてきており、今後の展開にも期待が持てる。

「イベント形式による販売会」という新しい試みで宝飾業界をリードしてきた同社が、最先端技術であるICタグというツールを手に入れたいま、今後の展開からますます目が離せなくなってきた。

第6回
自動認識システム大賞
「優秀賞」受賞

株式会社フェニックス電子におけるICタグ導入をテーマにした「RFIDを活用した宝飾・眼鏡管理」(オムロン㈱ フェニックス電子㈱共同申請)が、自動認識システム協会主催の『第6回 自動認識システム大賞』において「優秀賞」を受賞しました。



お問合せは

PEC フェニックス電子株式会社

本社営業部 TEL075(221)5855 FAX075(221)5377

東京営業部 TEL03(3668)0201 FAX03(3668)0203

中部営業所 TEL0568(29)2145 FAX0568(29)2146

URL <https://www.phoenix-denshi.co.jp/>